

2015年世界保健革新サミット（WISH）、画期的研究と医療革新を紹介

カタール ドーハ、2015年2月日／PR ニュースワイヤー／--

80ヶ国以上から医療のリーダーが本日カタールに集まり、世界保健革新サミット（WISH: World Innovation Summit for Health）で世界医療の将来に革新をもたらす可能性を持つ最新研究、アイデア及び医療革新について学びます。

マルチメディア・ニュースリリースは以下でご覧になれます。

<http://www.multivu.com/players/English/7449051-world-innovation-summit-health-2015/>

サミット初日には、世界のリーダー、政策立案者、医療専門家が一同に会して、2型糖尿病の蔓延への取り組み、認知症への対応、患者の安全の向上、国民健康保険の改善、子供の精神的健康の悪化への対処など、最も緊急な世界医療の課題のいくつかに対するソリューションを討論しました。

3つの主要な健康問題についてのパネルディスカッションに参加するとともに、参加者は、オバマ政権の元健康アドバイザーであるドン・バーウィック博士を始めとする基調講演者からの話を聞く機会も持ちました。バーウィック博士は、患者のケアと安全を改善するためには効果的な医療革新の普及が大切だと熱く語りました。参加者また、サミットで紹介された、3D印刷人工装具、仮想手術シミュレーター、新しいモバイル用健康アプリなどの世界から集められた最新の画期的な革新のいくつかについても学びました。

サミット2日目には、パネリストが、増加するがんの罹患率と治療コスト、込み入ったメッセージの伝達、エボラ・クライシスへの取り組みといった課題に対するソリューションを討論する予定です。80ヶ国以上からの1,000人を超える代表を迎えて、WISHは健康管理を誰にとってもより効果的で手頃なもの

にするために現実的な政策に変えることが可能なアイデア、革新、ソリューションを伝えます。

またサミットには、2つの特別なパネルディスカッションが用意されており、ゲノミクスとオーダーメイド医療の将来についての討論会は本日開催され、ビル&メリンダ・ゲイツ財団（The Bill & Melinda Gates Foundation）、ハーバード大学およびセーブ・ザ・チルドレン（Save the Children）が共同主催する討論会が明日開催される予定です。

2日間のサミットにわたり、9の主要な報告書が公表され、報告書では世界中からの研究や事例研究の検討を通して、多様で広範囲な課題についての新しい知識やソリューションが提供されます。

カタール教育・科学・共同体開発財団（QF: Qatar Foundation for Education, Science and Community Development）の会長を務めるシェイク・モザビント・ナセル妃殿下によって設立された WISH は、QF のイニシアチブであり、インペリアル・カレッジ・ロンドンのグローバルヘルスイノベーション研究所（Institute of Global Health Innovation）所長ダージ・オブ・デンハム教授が執行議長を務めます。WISH あるいは 2015 年サミットについての詳細情報は <http://www.wish.org.qa> をご参照ください。

編集者への注意事項

詳細情報については、下記に連絡して下さい。

Noha El Afify

WISH 広報担当

nelafify@wish.org.qa

+974-77686624

情報源 : Qatar Foundation - WISH